

西小倉地域小中一貫校 整備検討委員会だより

令和4年7月発行

【第3号】

発行：西小倉地域小中一貫校
整備検討委員会事務局

西小倉地域小中一貫校 整備に関する意見交換会

子どもたちが楽しく
通える学校にな
るといいね



(仮称)西小倉地域小中一貫校の開校に向け、西小倉地域小中一貫校整備検討委員会 学校部会が主催し、基本計画素案について保護者や地域の方々との意見交換会を行い、西小倉小学校、北小倉小学校、南小倉小学校を会場にそれぞれの校区にお住まいの方々から様々なご意見をいただきました。6月7日(火)に実施した学校部会において宇治市教育委員会から質問に対する説明を受けました。

意見交換会で出された意見と宇治市教育委員会の説明(一部抜粋)

ご意見・ご質問	回答
開校場所が西小倉中学校になった経過は。	基本的な考え方として、教育環境をより良いものとする、かつ、学校統合に伴う子どもたちの負担を可能な限り軽減することを基本的な考え方として、以下の理由により、開校場所を西小倉中学校に決定しました。 ①児童生徒が多様な活動を行うことができる広い敷地とグラウンドが確保できること(体育の授業や部活動時の移動時間等への影響がない) ②児童生徒の負担となる段階的な統合、いわゆる先行統合を避けることができること ③地域防災の視点から、西宇治地域の広域的な浸水対策として西小倉小学校に設置した雨水流出抑制施設は今後も維持する必要があること
広いグラウンドを確保してほしい。	グラウンドの面積は、約13,000㎡を確保し、小学生、中学生が授業で利用します。メイングラウンドで行う授業内容により複数の授業の同時実施が難しい場合、サブグラウンドの使用を想定しています。
第2グラウンドを確保してほしい。	同一敷地外のグラウンドにつきまちは、移動時間による授業時間やカリキュラムへの影響が避けられず、加えて児童生徒の移動時や現地での安全確保にも課題が大きいため、設置を考えていません。
プールをなくしていく、ということは考えていないか？	他の小学校と同じ規模のプールを設置する方向で検討しています。
小中一貫教育のメリットを知りたい。 (一貫校のメリットは何なのか。何が実現できるのか。)	宇治市では、平成24年度から全市で小中一貫教育を実施し、今年で10年を迎えます。施設一体型小中一貫校として開校した宇治黄檗学園では、小中学校教員の協力・協働による9年間を見据えた一貫した教育を推進しております。小学生にとっては、普段の学校生活の中に、身近なお兄さんや、お姉さんがいることで憧れが芽生え、また、中学生にとっては自分が辿ってきた姿を見ることで、小学生の目標となるよう自覚が生まれます。こうした日常が、児童生徒の自己有用感や自尊感情を育み、穏やかな学校風土を創り出していることが、施設一体型小中一貫校の良さであると考えています。

その他、出されたご意見、ご質問に対する回答の詳細につきましては、宇治市HPをご覧ください。→



【ご意見・お問合せ】

宇治市教育委員会 TEL: 0774-20-8772
学校改革推進課 E-mail: gakkokaikaku@city.uji.kyoto.jp